

## 令和6年度 学校経営報告書（自己評価）

取組 目標	成果目標	達成状況	評価
つ な が る カ の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒を承認し励ますボイス・シャワーを実践する教員 90%</li> <li>・学校生活で自分に自信を持てたことがあった生徒 80%</li> <li>・クラスで友人と協力し合う関係を築けた生徒 95%</li> <li>・自分の考えを説明し表現する力が身についた生徒 85%</li> <li>・誰に対しても自分から先に挨拶できる生徒 90%</li> <li>・ルールやマナーを守っている生徒 100%</li> <li>・交通事故件数、交通違反者数が前年度より減少</li> <li>・いじめ認知件数、問題行動が前年度より減少</li> </ul>	<p>95.1%</p> <p>全体 78.9% 1年 82% 2年 75% 3年 80%</p> <p>全体 97.7% 1年 97% 2年 98% 3年 98%</p> <p>全体 82.1% 1年 80% 2年 84% 3年 83%</p> <p>全体 63.5% 1年 58% 2年 68% 3年 64%</p> <p>全体 98% 1年 96% 2年 98% 3年 100%</p> <p>交通事故件数前年度比減 違反者数前年度比減</p> <p>いじめ認知件数が前年度比増 問題行動件数前年度比増</p>	B

取組 目標	成果目標	達成状況	評価
み つ け る カ の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の学力の強みと課題を把握している生徒 85%</li> </ul>	全体 80% 1年 80% 2年 75% 3年 85%	C
	<ul style="list-style-type: none"> <li>3年間を見通した進路指導計画完成</li> </ul>	各学年の進路指導計画を集約した。  92.7%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の実情に応じて適切な進路先や選抜方法を助言できた教員の割合 90%</li> </ul>	全体 89.4% 1年 90% 2年 87% 3年 92%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>納得のいく類型、科目選択、進路選択ができた生徒 90%</li> </ul>	全体 69% 1年 43% 2年 78% 3年 85%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンキャンパス等に参加した生徒 80%</li> </ul>	全体 47.9% 1年 39% 2年 43% 3年 61%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な探究の時間が、進路目標(志望学部)の具体化に役立ったと感じる生徒 80%</li> </ul>	全体 73.4% 1年 79% 2年 68% 3年 73%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動を通して、自分自身や社会の課題に気付き、改善または解決策に関心を持った生徒 75%</li> </ul>	70.7%  全体 80.3% 1年 79% 2年 78% 3年 84%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動の指導に積極的に取り組む教員 80%</li> </ul>	全体 29% 1年 38% 2年 22% 3年 27%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業(教科学習)の中で探究課題を見だし、解決しようとする生徒 75%</li> </ul>	全体 10% 1年 10% 2年 11% 3年 9%	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>2か月に1冊以上の本を読んだ生徒 50%</li> <li>「グローバル科の本」又はグローバルをテーマにした本を読んだ、もしくはグローバル課題探究に必要な論文やネット文献を読んだグローバル科の生徒 70%</li> </ul>		

取組 目標	成果目標	達成状況	評価
行 動 す る 力 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習時間 1年生:週 840分 2年生:週 1300分</li> <li>・国公立大学合格者数 60人(県内 30人)以上</li> <li>・土曜講座(1・2年:国・数・英、3年:5教科)、放課後講習(3年:5教科)の実施</li> <li>・1部活動1ボランティア(地域・社会貢献活動) 全部活動で実施</li> <li>・社会貢献活動(ボランティア活動)に参加した生徒 90%</li> <li>・ブロック大会や全国大会へ出場する部活動がある</li> <li>・撫子チャレンジを活用した生徒 20人以上</li> <li>・各種コンクール等への自主的な参加、出品者 20人以上</li> </ul>	<p>1年達成 19.6% 2年達成 6.1%</p> <p>64人(27人)</p> <p>土曜講座(3年生)は国語、数学、理科、情報を実施した。 放課後講習は数学、英語、理科地歴を実施した。</p> <p>全部活動で実施。</p> <p>全体 30.4% 1年 34% 2年 30% 3年 27%</p> <p>ギター部</p> <p>2人</p> <p>出品、参加者 129人</p>	C
考 え る 力 の 育 成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的・対話的で深い学びを実践している教員 100%</li> <li>・授業に探究的な問いを取り入れている教員 100%</li> <li>・生徒が ICT 機器を活用する場面を設けている教員 100%</li> <li>・総合的な探究の時間で、友人と協働して課題の解決策を考えることができた生徒 90%</li> <li>・授業を通して考える力が深まったと感じる生徒 95%</li> </ul>	<p>87.8%</p> <p>82.9%</p> <p>90.2%</p> <p>全体 86.8% 1年 89% 2年 91% 3年 81%</p> <p>全体 90% 1年 91% 2年 89% 3年 90%</p>	B

取組 目標	成果目標	達成状況	評価
グ ロ ー バ ル 教 育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の様々な問題が、自分の生活に関係していることを意識している生徒 80%</li> <li>・学んだことを生かし、地域社会の問題を解決したいと考える生徒 80%</li> <li>・グローバル活動に参加した普通科の生徒 50人以上</li> <li>・オンライン英会話の全学年導入</li> <li>・卒業までに、CEFR B1（英検 2 級程度）取得生徒 グローバル科 100%、普通科 20%</li> <li>・卒業までに、CEFR B2（英検準 1 級程度）取得生徒 グローバル科 15%</li> </ul>	<p>全体 78% 1年 79% 2年 72% 3年 82%</p> <p>全体 81.5% 1年 81% 2年 81% 3年 83%</p> <p>92人</p> <p>全生徒が英語の授業でオンライン英会話に取り組んだ。</p> <p>グローバル科 3年生 69.6% 普通科 3年生 12.6% (12月現在)</p> <p>グローバル科 3年生 5.6% (12月現在)</p>	B
安 心  ・ 安 全 な 学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒に対する言葉遣い、呼称、授業のUD化に配慮している教員 100%</li> <li>・自己を大切にし、他者の人権を尊重することができた生徒 90%</li> <li>・ケース会議等による組織的な支援で生徒の状況が改善（通級指導の円滑導入）</li> <li>・施設、設備の不具合に起因する事故、けが 0件</li> <li>・ヒヤリハット事例の共有</li> <li>・「危機等発生時対処要項」の追加更新</li> <li>・業務改善を実施した分掌・学年 100%</li> <li>・専門家、保護者、地域人材の活用により負担が軽減したと感ずる教員 50%</li> <li>・ICT 機器活用による事務作業等の軽減</li> </ul>	<p>92.7%</p> <p>該当事案 0 件</p> <p>「危機等発生時対処要項」を改訂した。</p> <p>「やめる」「へらす」「かえる」の観点から、すべての分掌、学年で業務改善に取り組んだ。</p> <p>負担が軽減したと感ずる教員 29.3%</p> <p>テスト採点システム「百問繚乱」の導入</p>	B